

推進方向 1

コミュニティ・スクール^{※1}の充実

地域の教育資源や教育力を活用する中で、学校と地域が相互に理解し合い、協働する「横のつながり」、中学校とその校区にある小学校間の連携を深める「縦のつながり」を相互につむぎ合わせながら、今後もさらなる学校等・家庭・地域による連携と協働の実践により、学校のよさの伸長と地域の教育課題の解決を図るコミュニティ・スクールの充実に取り組みます。

◇ 対象施策 ◇

全学校に設置している学校運営協議会の運営を支援します。

◆ 重点事業 ◆

◎ 学校運営協議会の運営支援

コミュニティ・スクールコンダクター^{※2}が各学校を巡回し、実効性のある学校運営協議会となるよう、助言や支援を行います。また、学校関係者評価を充実させることで、教育活動や学校運営の改善に取り組みます。

◇ 対象施策 ◇

地域づくりの核の一つとして、地域と連携した学校・園づくりを推進します。

◆ 重点事業 ◆

◎ 地域と連携した学校・園づくりの推進

地域のネットワークを活用し、幼児期から中学校卒業までの15年間を通して、幼児児童生徒が多くの人とふれあう機会をつくるなど、地域と“共に”ある学校・園づくりを一層推進します。また、地域住民を対象とした学習教室を開催するなど、積極的な学校・園開放に努め、地域の人が集う学校・園づくりに努めます。

◇ 対象施策 ◇

小学校と中学校の連携や同一中学校区内の小学校間の連携をより一層推進します。

◆ 重点事業 ◆

◎ 小中連携や小小連携の一層の推進

中学校区の特性や課題をもとに、小中合同学校運営協議会における熟議等を通して「地域で育てたい子供像」を共有し、学校等・家庭・地域の連携と協働により、特色ある教育の推進とともに、中学校区ごとの教育課題の解決をめざします。

◇ 対象施策 ◇

学校と地域をつなぐ柱となる人材としてのコーディネーターを育成します。

◆ 重点事業 ◆

◎ 学校と地域をつなぐコーディネーターの育成

地域コーディネーター^{※3}に必要な知識・技能の習得を目的とした研修会を実施し、学校と地域をつなぐコーディネーターの育成に努めます。

☆ 成果指標・目標 ☆

指標名	現状値	目標値
地域住民の来校者数	7万7,000人 (平成27年度)	9万人 (平成31年度)
小中合同学校運営協議会実施率	78.6% (平成27年度)	100.0% (平成31年度)
地域コーディネーター設置率	58.1% (平成27年度)	100.0% (平成31年度)

※1 「コミュニティ・スクール」とは・・・

学校運営協議会（保護者や地域住民が学校運営に参画し、協議を行う機関）を設置している学校のことを指します。

※2 「コミュニティ・スクールコンダクター」とは・・・

コミュニティ・スクールの取組の充実や水準の向上、小中連携の取組を推進するため、各学校の訪問指導・連携支援を行う、山口県教育委員会から市に派遣された専門家の総称をいいます。

※3 「地域コーディネーター」とは・・・

地域の窓口となり、学校支援（授業の補助、学校行事、部活動、環境整備等の支援）や地域貢献活動（地域行事への児童生徒の参加等）など、学校と地域の連絡・調整・人材発掘等の活動を行う地域人材のことをいいます。